

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2017-146338(P2017-146338A)  
 【公開日】平成29年8月24日(2017.8.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-032  
 【出願番号】特願2016-25674(P2016-25674)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月8日(2019.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

非晶性樹脂、着色剤、及び結晶性樹脂を含有するトナー粒子を有するトナーであって、  
 該非晶性樹脂は、ポリエステルを主成分とする樹脂A、ポリエステルを主成分とする樹脂B、  
 ポリエステルを主成分とする樹脂Cを含有し、

該結晶性樹脂は、ポリエステルを主成分とする樹脂であり、

該樹脂Aは、多価アルコールユニットと多価カルボン酸ユニットを有し、軟化点が130以上150以下であり、

Fedor'sの式で求められる該樹脂Aの相溶性パラメーターを $SP(A)$ としたとき、  
 該 $SP(A)$ が、 $12.55 < SP(A) < 13.00$ であり、

該樹脂Bは、多価アルコールユニットと多価カルボン酸ユニットを有し、軟化点が80以上95以下であり、

Fedor'sの式で求められる該樹脂Bの相溶性パラメーターを $SP(B)$ としたとき、  
 該 $SP(B)$ が、 $11.80 < SP(B) < 12.40$ であり、

該樹脂Cは、多価アルコールユニットと多価カルボン酸ユニットを有し、軟化点が100以上120以下であり、

Fedor'sの式で求められる該樹脂Cの相溶性パラメーターを $SP(C)$ としたとき、  
 該 $SP(C)$ が、 $12.40 < SP(C) < 12.55$ である

ことを特徴とするトナー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明者らは、鋭意検討を重ねた結果、低温定着性と耐ホットオフセット性を両立した上で、長期間の画像出力においても、高転写性を満足することのできるトナーを得ることができることを見出した。

本発明によるトナーは、非晶性樹脂、着色剤、及び結晶性樹脂を含有するトナー粒子を有するトナーであって、

該非晶性樹脂は、ポリエステルを主成分とする樹脂A、ポリエステルを主成分とする樹脂

脂 B、ポリエステルを主成分とする樹脂 C を含有し、

該結晶性樹脂は、ポリエステルを主成分とする樹脂であり、

該樹脂 A は、多価アルコールユニットと多価カルボン酸ユニットを有し、軟化点が 130 以上 150 以下であり、

Fedor's の式で求められる該樹脂 A の相溶性パラメーターを  $SP(A)$  としたとき、該  $SP(A)$  が、 $12.55 < SP(A) < 13.00$  であり、

該樹脂 B は、多価アルコールユニットと多価カルボン酸ユニットを有し、軟化点が 80 以上 95 以下であり、

Fedor's の式で求められる該樹脂 B の相溶性パラメーターを  $SP(B)$  としたとき、該  $SP(B)$  が、 $11.80 < SP(B) < 12.40$  であり、

該樹脂 C は、多価アルコールユニットと多価カルボン酸ユニットを有し、軟化点が 100 以上 120 以下であり、

Fedor's の式で求められる該樹脂 C の相溶性パラメーターを  $SP(C)$  としたとき、該  $SP(C)$  が、 $12.40 < SP(C) < 12.55$  であることを特徴とする。